

NEWS LETTER 68

VOL. TAKE FREE



VRで体験!
「次世代クローンズゲート」イベントを開催!

Student! 解体新書!
石崎まひろさん

NEWS LETTER編集委員が送る
新宿ゆかりの文豪

Teachers at Work!
芦谷耕平 講師

リレーマンガ
『はらべこ新宿食い道楽』第三話

HOT TOPICS

News Letter

vol.68

2016年7月1日発行

宝塚大学 東京新宿キャンパス 東京メディア芸術学部 | 大学院 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目11番1号
TEL:03-3367-3411 FAX:03-3367-6761 E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp

なりたいたいわたしに近い大学。

都心のキャンパスだから
発信する場がいっぱい!

社会に
近い。



先生は第一線で活躍する
現役クリエイター

教員に
近い。



各沿線の新宿駅から
歩いてすぐ

新宿駅に
近い。



各沿線
新宿駅から
徒歩約5分!

学びの特徴

現役クリエイターによる指導のもと、領域の枠を超えて学べるカリキュラムで一人ひとりに合わせた学びを実現!

POINT 1

現場で活きる教育を実践
先生=クリエイター

POINT 2

+αの学びが力になる
選べるカリキュラム

POINT 3

きめ細やかな対応が可能
少人数制の授業

OPEN CAMPUS 2016 SCHEDULE

公開授業

7/18 月・祝

[時間] 10:00 ▶ 18:00

夏のオープンキャンパス

7/24 日 | 7/30 土 | 8/10 水 | 8/28 日 [時間] 10:00 ▶ 15:00

進学相談会 10/1 土 | 11/26 土 | 2017 1/28 土 | 2/18 土 [時間] 13:00 ▶ 16:00

ACCESS アクセス



- JR「新宿」駅(西口)から徒歩約5分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅から徒歩約3分
- 地下鉄丸ノ内線「新宿」駅から徒歩約4分
- 西武新宿線「西武新宿」駅から徒歩約4分
- 小田急線「新宿」駅から徒歩約5分
- 京王線「新宿」駅から徒歩約5分
- 都営新宿線「新宿」駅から徒歩約5分





VR(バーチャルリアリティ)で体験！ 「次世代クーロンズゲート」イベントを開催！

初代ブレインステーションに登場したソフトラインナップは、独創的なアイデアやチャレンジ精神が光るタイトルも数多くありました。その中でも、アジアゴシックな世界観や登場人物たちの強烈な個性などが光ったゲームのひとつに『クーロンズ・ゲート』。九龍風水傳』があります。ゲームの中に描かれた、独特な味わいを持つパラレルワールド「陰界の九龍城」の醸し出す雰囲気は、多くのユーザーを圧倒しました。

この作品を世に送り出したのが、JETMAN代表、宝塚大学ゲーム領域教授の井上幸喜。企画・アートディレクション及びキャラクターデザインに携り、社員の多くはクーロンズ・ゲートの開発に携わったメンバーです。

このイベントは、宝塚大学東京メディア芸術学部とJETMANの産学協同プロジェクト「次世代クーロンズゲート」のための研究開発の映像を、Oculusで体験できるというもの。実際にゲーム内で使用された素材も用いられており、あの「陰界の九龍城」をリアルに体験することができます。

VR元年とも言われている2016年に、Unreal Engine 4上で『クーロンズ・ゲート』の世界を再構築する。この魅力あふれる刺激を直接味わうべく、多くの来場者で賑わいました。

↑ 右を見ても左を見ても怪しげな路地。上を見上げればビルの隙間から細長い空が横切っており、入り組んだ町の片隅に紛れ込んだ自分を相対的に実感します。



↑ Oculusのヘッドマウントディスプレイを被りスタートすると、目の前に広がるのは薄暗い路地。大きな換気扇や鉄パイプがビルの壁面を彩り、雑多なもどこか親しみが感じられる。

【体験した感想】

空から滴る雨音や大型の通気口など音の響きが実にリアルで、物音に思わず振り向いてしまう程の現実感でした。

KowloonsGate
©Sony music entertainment



Student! 解体新書!

東京メディア芸術学部¹に在学中の学生に突撃取材する企画!
学生のリアルな生活、好きなもの、こと、持ち物まで赤裸々に公開します!

いしざき 石崎まひろ

東京都渋谷生まれ埼玉県川口市育ち。
浦和学院高校卒業。アニメーション領域所属2年生。
グループ創造サークル結成メンバー(会計、バスケットボール部)
同好会新入部員。
趣味は資料作り(サークルの活動資料)。



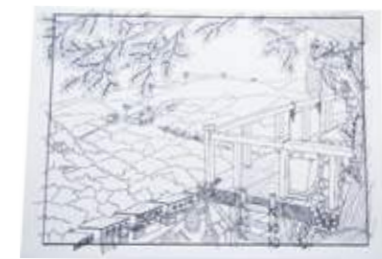
↑大好きなエスニック雑貨のお店で買いました。



↑作画で使う鉛筆と背景やイラストを描く際に使うお気に入りのペンです。



↑大好きな六七賢さんの背景本とアニメーションエフェクト本です。



↑アニメ制作の授業で使います。背景担当になりました。



←今読んでいます。文庫は表紙からの出会いです。



↑アニメの授業必須アイテムです。



←FELISSIMOのおまけでついてきたカッターです。



→澤野さんをはじめ大好きなサウンドトラックが詰まっています。



↑先生から頂いたアニメ資料です。あとからポケットを増やせるタイプです。

あるアニメを見たのがアニメーション好きになるきっかけに

アニメーション自体が好きになったのは、中学時代の終わりごろです。「戦国BASARA」というゲームをやっていて、そのアニメを見たのがきっかけだったと思います。そこからキャラクターの絵を描くようになって、落書き程度で描いていましたが、めっちゃくちゃ下手だったのを覚えていますね笑。人に見せられる絵を描こうと思って、アニメ好きになってキャラクターの模写をしていました。でも描いていくうちに、漫画なくて、絵を動かしたいと思っていました。

そこからいろいろなアニメーションをネットでも見るようになって、進撃の巨人のEDでも知られる澤野弘之さんの音楽PVを見たときに、本格的にアニメーションというものを意識するようになりました。「BACCANO」というアニメを見たときは、キャラクター以上に作画がおもしろいと思えるようになって、絵の動き方が大きくて見ていて楽しかったです。

高校は美術クラスに所属

作画やアニメーションの背景が好きになって、高校時代でも絵を描いたり、ものづくりできる環境にいいなと思う、5美大の先生たちがたくさんいる高校に進学しました。そこで美術部に入って、毎日油絵を描いていました。しっかりと「もの」を捉えて描くことが大切だと当時から感じていたので、デッサンを一生懸命やったり、造形にこだわっていましたね。今思うと、アニメ制作をする上でとっても勉強になった時間だったと思います。

高校に入っても相変わらずアニメにはまっていて、だんだんと制作者側の気持ちになって映像を見ている自分がいました。パス、背景が好きになって、キャラクターをつくるよりも、ものを動かす方にどんどん興味が湧いてきたんです。そこから、「エフェクト」と呼ばれる、煙、電気、雷などの動きにも注目するようになって、アニメの見方が変わってきました。

将来仕事に就けるか、が大学進学を決める

高校卒業が近くなってきたとき、進学を考えたときに、将来ちゃんと仕事に就けるかどうかを考えていました。高校時代から?と思うかもしれませんが、社会にはイラストレーターはたくさんいるし、漫画家になれる人とはとても少ないことは知っていました。アニメーションをつくる仕事はたくさんある職業がありそうだし、おもしろそうだったので、美術色が強い美大よりも、4年間アニメのことを学べる宝塚大学が自分に適していると思ったんです。

オーブンキャンパスに行ったとき、先生や先輩たちとの距離が本当に近くて、別領域との交流も盛んだということがわかりました。同じ趣味を持った人間が、ここにはたくさんいる!と思えました。入学してからも、月岡先生の文化論、古瀬先生のアニメスキルの授業(メタモルフオーゼ)、アニメ制作(共同制作)と、実際に社会に出たときに役立つ授業が多くて楽しいです。ある授業の中で、決められた曲の中でPVをつくるというのがあるのですが、チームを組んで1つの作品をつくることにも楽しい発見がありました。

将来はアニメーターになる!

将来はアニメーターとしていろいろな作品を作っていきたいですね。アニメーターは原画を描く人、動画にする人がいて、最初は動画づくりから入っていきます。1つの作品をつくるのに、多いと何百人という人が関わるアニメーション制作の仕事はきつと奥が深いはず。すぐになれるものじゃないけど、ひとつひとつ意味がある仕事を覚えて、1人前になりたいですね。

アニメーションをつくるときは大変で辛いことも多いんですが、動画にしてキレイに映ったときの感動といたら...すべてのやる気はその動画を見るためにありますね。



第14回鎌人いちば
お台場の企画の流れで参加させてもらいました。2回目の参加でだいぶ腕を上げました。



お台場ハワイフェスティバル2016
初めての外部企画でした。私のステンシルのデザインも使わせてもらいました。



BankART AIR OPEN STUDIO
2016 関連企画
先輩のアートワークをもらいながら作った初お仕事でした。勉強になりました。

新宿文豪

数多の著名な文豪たちが活動した新宿区。今回は、新宿区で活動した文豪たちの生涯を、人物像と共にお届けいたします。



イラスト：石原亜矢子
夏目漱石
(1867~1916)

- 1867 牛込馬場下横町(現喜久井町)生まれ
- 1890 帝国大学で英文学を専攻
- 1895 松山の愛媛県尋常中学校に教師として赴任
- 1907 朝日新聞社に入社
- 本格的に作家活動を開始
- 早稲田南町にある「漱石山房」にて暮らす
- 『三四郎』『それから』『こゝろ』『道草』などの作品を執筆
- 1916 死去

漱石と花

漱石は、作品の中に多くの花を描いています。例えば、『それから』では椿や百合を重要な場面に配して、印象的に用いていますし、『虞美人草』では女郎花(おみなえし)を小夜子という人物を象徴するものとして登場させて、その人物像を際立たせる役割を与えています。このように、小説の中で様々な花のイメージを巧みに利用しながら作品の世界を膨らませていくことは漱石がまさに得意とすることでした。

こうした点からは漱石が科学や芸術のみならず、花についても該博な知識の持ち主であったように思われますが、友人で華道家元の西川一草亭(漱石作品の装丁を数多く手掛けた画家・津田青楓の兄)と交わした書簡からはそれは少し違った漱石の一面が窺われます。大正4年(1915)の2月13日の書簡ですが、ここでは6日前に西川から贈られた花の礼に「芍薬をわざわざ頂きましてありがたう御座います」と書き送ったことについて、「芍薬と牡丹を間違へたといつて人から笑はれました。御免下さい。然しいくらそんな事を間違っても花を賞翫する事はしてゐるのですから。」と述べています。

牡丹と芍薬は外見がよく似ており、一般に区別の難しいとされる花だとは言え、ここには花の専門家を相手にうっかりした事を書いて人に笑われてしまい、少しばつが悪そうに弁明する、そんな漱石の顔を思い浮かべることができます。



イラスト：木村奈央
小泉八雲
(パトリック・ラフカディオ・ハーン)
(1850~1904)

- 1850 ギリシャのレフカダ島(リユーカディア)でアイルランド人の父と、ギリシャ人の母との間に生まれる
- 1869 アメリカへ渡る
- 1874 新聞記者となる
- 1890 雑誌記者として来日
- 松江で出会った小泉節子と結婚、
- 日本文化研究に取り組む意向を固める
- 1896 帝国大学の英文科講師に招かれ上京
- 日本に帰化、小泉八雲を名乗る
- 1904 『日本—一つの試論』をまとめる
- 狭心症のため死去

八雲と日本文化

日本の伝統的精神や文化に興味をもった八雲は、「耳なし芳一の話」「ムジナ」「雪女」「食人鬼」を含む『怪談』や『知られぬ日本の面影』など、多くの作品を著し、日本を広く世界に紹介しました。



イラスト：石原亜矢子
林芙美子
(1903~1951)

- 1903 福岡県門司市(現北九州市)に生まれる
- 1922 上京
- 職を転々とする
- 1924 放浪記の原型となる「歌日記」を書き始める
- 1930 自叙伝的小説『放浪記』を発売
- ベストセラーになり、文壇での地位を確立
- 落合に移り住む
- 1939 土地を購入、新居を建設開始
- 1941 竣工、新居に移る
- 1951 心臓麻痺のため死去

芙美子と家

芙美子は1941年に移った新居で、残りの生涯を過ごしました。人に見せるための家ではなく、住み手の暮らしと安らぎが第一に考えられ、客間よりも、茶の間と風呂と厠と台所に工夫とせいが凝らされています。

この家には、創作活動と同様に生活を大切にしたい芙美子の思いを、随所に見ることができます。



イラスト：大泉夏紀
尾崎紅葉
(1867~1903)

- 1867 江戸芝中門前町(現浜松町)に生まれる
- 1885 文学結社「硯友社」を興し、雑誌『我楽多文庫』を創刊
- 1889 『二人比丘尼色懺悔』を執筆
- 1891 横寺町の家(十千万堂)で過ごす
- 1897 『金色夜叉』を執筆
- 1903 死去

来るものは拒まず

紅葉は、来る者は拒まず去る者は追わずという主義でした。自分を頼ってくる者のためには全力を挙げて尽くすほど友情にあつく、彼をしたう門下生にも親切であったようです。



イラスト：松原麻友
泉鏡花
(1873~1939)

- 1873 石川県金沢市に生まれる
- 本名、鏡太郎
- 1882 母を亡くす
- 幼くして母と死別した経験が、鏡花の作品に大きな影響を与える
- 1889 尾崎紅葉の『二人比丘尼色懺悔』を読む
- 感銘を受けた鏡花は、紅葉の門下となる
- 目的で上京、横寺町の紅葉宅で玄関番をしつつ師事
- 1899 『湯島詣』を刊行
- 神楽坂の花街が題材となっている
- 1939 肺腫瘍のため死去

参考文献 「新宿ゆかりの人物;新宿区」 <https://www.city.shinjuku.lg.jp/kanko/file03_01_00003.html> (アクセス日:2016/6/18)
「漱石山房」 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000113753.pdf> (アクセス日:2016/6/16)
「小泉八雲記念館」 <http://www.matsue-tourism.or.jp/yakumo/> (アクセス日:2016/6/11)
「夏目漱石記念施設整備」,平成28年 3月発行 第3号,新宿区文化観光課文化資源係

Teachers at Work!

東京メディア芸術学部にて在籍している講師たちを紹介するページ！
学校での活動のほか、外部での仕事が多いのが本学の特徴でもあります。



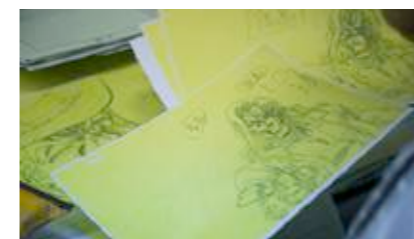
あしやこうへい 芦谷耕平 講師

Profile

1980年生まれ。新潟県佐渡ヶ島出身。北海道育ち。日大芸術学部映画学科映像コース卒業。
アニメーター、映像作家、漫画家。『ジョジョの奇妙な冒険 DU』他アニメジョジョシリーズ作画監督／
総作画監督補 他、『寄生獣』『攻殻機動隊 新劇場版』『NARUTO 疾風伝』『ワンパンマン』等の作品に参加。
『漫画は推敲する』『学生も守る』



芦谷先生が使っている道具たち。
これでほとんどの絵が描けるといふ。



作画の仕事。制作中のアニメーションの仕事。



芦谷先生の研究室はたくさんのもが置いてある。
「ジョジョ祭壇」と呼ばれる天井近くまで積まれた
ジョジョグッズたちは圧巻。

外部
の
仕事

宝塚大学の教員になって、今はマンガ領域とアニメーション領域で授業を教えています。全学年を見ていて、具体的な授業内容は漫画制作実習Ⅰ、アニメデジタル基礎、デジタル漫画表現研究、アニメ制作ⅡⅠ、インディペンデント映像およびアニメーション概論を担当しています。話す授業と、学生たちとつくる授業と半分ずつぐらいですね。

今はマンガ、アニメの領域で活動していますが、もともと映画が好きで、家族みんな見てましたし、中学時代は映画監督になろうと思っていました。中高時代に映画にはまっていたのと、『THE YELLOW MONKEY』というバンドに大ハマリして、音楽PVをつくっている高橋栄樹監督が日大芸術学部の卒業生だと知り、進学は日芸にしようと思っていました。無事入学することができて、大学時代はアニメ、映画、映像など幅広い分野を学ぶことができて、今に至ります。

大学で教えていること以外に、アニメーター、作画監督の仕事をしてます。『ジョジョの奇妙な冒険 ダイヤモンドは砕けない』他、アニメジョジョシリーズ作画監督をしていて、学生にも手伝ってもらったりしています。アニメーションをつくる仕事はいくつもの仕事にわかれています。1つの作品に300人以上関わる大きな案件もあれば、小さくても、監督、脚本、絵コンテ、作画監督、原画、動画マン、編集、音響と、たくさんの方が関わる仕事なので、チームワークも大切。授業でもこのチームワークの大切さと、たくさんの方の職種があること、それぞれのおもしろさが違うことを知ってほしいですね。

宝塚大学はアニメやマンガが本格的に学べる4年制の大学です。4年間で、自分がやりたいことをしっかり見つけて欲しいのと、先生がやっている事に積極的に関わってみたい、早い段階からスキルとコネクションを構築して欲しいな、と思います。アーティストや作家でなくても、アニメやマンガに関わる仕事はたくさんあります。どんな関わり方が自分にとって楽しく、やりがいを感じられるのか。そんなことを少しずついいので考えていると思います。よく自身、これからは多くの映像作品をつくっていききたいですし、オリジナルのマンガを描いて世に出していきたいと思っています。



『ジョジョの奇妙な冒険 TVアニメ原画集 AAA』
表紙
©荒木飛呂彦 & LLC /
集英社・ジョジョの奇妙な冒険SC製作委員会



芦谷講師が作画監督したカット
©BS JAPAN CORPORATION All Rights Reserved.



最新の映像のお仕事
BS ジャパン 『シネマクラッシュ』 オープニングムービー

はらぺこ 新宿食の道楽

第三話

バター
豚挽き肉の
レタス包み
和え

春雨と
シーフードの
あつさり炒め

タイの
玉子焼き

炎の空芯菜
炒め

生春巻き

トムヤムクン

このかは？ 2年生のペコと原ちゃん
が大学近くの美味しい飲食店を紹介します！

トムヤムクンの
辛味と酸味は癖に
なるわね

玉子焼きは大きくて
ふわっふわだし、
空芯菜はシャキシャキで
すっごく美味しい！

春雨とシーフードの
あつさり炒めは
色んな食材が入ってて
食感が楽しいね！

どれもすっごく
美味しい！！

ごちそうさま
でした！

いただきますーす

私の中のバターリテイが
メキメキと高まるのを
感じるわ

良いわよ
ペコ

あ
そういうば
原ちゃん、

ここ、ランチは
お持ち帰り出来る
だから今度買って大学で
食べよう

全種一つずつ
ください

原ちゃん？

タイ国屋台食堂
西新宿ソイナナ

- ・新宿区西新宿 7-19-18
セードル新宿ハイツ 104b
- ・日、祝日定休日
- ・昼11:30~14:45
夜17:30~23:00
- ・大学から徒歩5分

HOT TOPICS

SA (スチューデントアシスタント)の研修に学生たちが参加

6月3日に嘉悦大学にて開催された「SA/TA (ティーチングアシスタント) 全体会」に本学 SA と学生 FD (ファカルティディベロップメント) 委員の学生が研修として参加しました。今回の全体会は嘉悦大学の学生による SA/TA の中間報告会で前半期での反省点や良かった点などの情報共有を行い後半期の実施改善を行うというものでした。他大学の学生の積極的な行動を見た本学の学生達は「自身の活動にとっても参考になった。このような流れを宝塚でも作りたい。」と今後の活動に意欲を見せました。



第14回鎌人いちばに学生たちが参加

鎌倉海浜公園(鎌倉市由比ガ浜)で5月22日に開催されたイベント「第14回鎌人いち場」(主催:鎌人いち場実行委員会)に、学生有志が参加しました。

本学からは、渡邊ゼミの学生たちが参加し、ブースを出展しました。ハワイアンな柄をステンシルで体に描く「ハワイアンステンシル」や学生たちが来場者の似顔絵を描き、その場で缶バッジを作成する「似顔絵缶バッジ」には多くのお客さんが集まり、好評を呼びました。



研究室内インターンシップによるオーケストラコンサートのデザイン制作を学生が担当

デザイン表現研究室に参加している学生が2つのコンサートイベントのチラシ・パンフレットのデザイン制作を行っています。

「横浜ゾリステンとジュニア達の協演」は6月26日(日)鎌倉芸術館にて行われたコンサートで、優れた演奏技術をもつプロオケ「横浜ゾリステン」に3か月間、プロ演奏家たちの指導をみっちり受けた中学生以上の有志たちが、交響曲全楽章を演奏するものです。

この制作には成瀬由唯さん(コンテンツデザイン2年・埼玉県立芸術総合高校出身)が参加し、演奏される交響曲第1番を作曲したシューマンをメインイメージにデザインしています。



「鎌倉ジュニアオーケストラ定期演奏会」は8月28日(日)に同じく鎌倉芸術館で行われるコンサートで、1984年に創設された小学生から高校生までが所属するオーケストラの第33回定期演奏会です。メイン曲のビゼー作曲「アルルの女」から南仏のイメージをもとにデザインしています。

この制作には成瀬由唯さん、森下優香さん(イラストレーション2年・上野高校出身)、諸田莉沙さん(イラストレーション2年・東洋女子高校出身)が参加しています。

どちらのコンサートデザインも毎年同研究室にてインターンシップとして制作を行っており、学生のスキルアップとして活用されています。



田島講師がコーディネーターを務めるトークイベント「生活の中に現れるアート」を開催

宝塚大学東京メディア芸術学部の田島悠史講師がコーディネーターを務めるトークイベント「生活の中に現れるアート」が6月3日に BankART Studio NYK で開催されました。「日常と美学のあいだ」を研究する、若手研究者をお呼びし、日常の美しさ、アートの日常性、日常と日常をつなぐこと、などについて、活発な意見が交わされました。



ニコニコ生放送「3時のおやつ」を実施

本学デザイン表現研究室の学生たちとシンガーソングライターの町あかりさんと町×ヅカ制作委員会のコラボ。学生たちは、フリーペーパー「町×ヅカ」(紙媒体)、ネットラジオ(音声媒体)に続き、産学連携のプロモーションプロジェクト第三弾として、ニコニコ生放送「3時のおやつ」で映像媒体製作に挑戦しています。今年度は研究室に参加した1年生がディレクターを担当し、毎月1回、番組企画・制作を行い放送します。第1回は6月25日(土)15:00より放送され、坪井真子さん(コンテンツデザイン1年・浦和学院高校出身)企画による対戦ゲームによるおやつ争奪戦が行われました。





デザイン工房がオープン!

学生からの要望をもとに授業課題以外での作品制作が行える工房が完成しました。ここでできる制作は 3Dプリンターやレーザーカッター、缶バッジ機によるグッズ制作や大判プリンターによるポスターやタペストリー制作。両面カラー印刷機や中綴じ製本機によるオリジナル創作本などの制作が行えます。この工房は個人・グループで参加するデザインフェスタ、コミティアなどの展示会や学祭での出展作品の制作に格安で活用できます!!



工房での制作の様子

会議スペースもあるよ!

大判プリンター



布印刷でタペストリー制作ができる!



両面カラープリンター

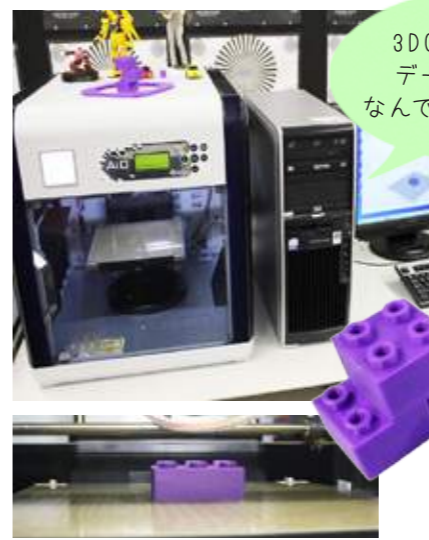
製本機・裁断機



オリジナル漫画作りができる!

マンガをソフトウェア上でレイアウトしてから中綴じ出力します。

3Dスキャナ&プリンター



3DCGモデリングデータがあればなんでも作れちゃう!



製本後、裁断機で断ち切り。

完成!

ラミネート加工



完成したラミネート加工作品

缶バッジ

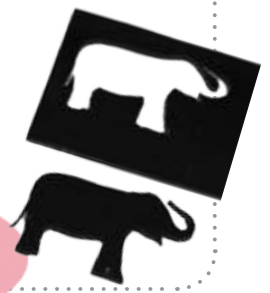


完成した缶バッジ

レーザーカッター



アクリル版も加工できちゃう!



7月のオープンキャンパス

日程: 7月24日(日)、7月30日(土)
 時間: 10:00~15:00
 場所: 宝塚大学 新宿キャンパス

公開授業

日程: 7月18日(月・祝)
 時間: 10:00~18:00
 場所: 宝塚大学 新宿キャンパス

[個展] "Alchemia intra Viridis ~緑の中の錬金術~" 夢島スイミ二個展
 日程: 7月16日(土)~8月11日(木) 営業日: 木、金、土、日
 時間: 14:00~20:00
 場所: LECURIO (高円寺)
 入場無料
 卒業生、夢島スイさんによる個展



編集後記

梅雨も本番になり、雨が多い日が続いていますね。こんな日が続くと、部屋で過ごす日も多くなるのではないのでしょうか。今月の新宿企画では新宿にゆかりのある文豪を取り上げています。雨の日は家でゆっくり読書というのも悪くない過ごし方ですよ。ね。

キャンパスツアーでは新しくオープンしたデザイン工房の特集もしています。創作活動の幅がぐっと広がりますね!

来月号も様々な情報をお届けします。お楽しみに!



NEWS LETTER 編集部

- Editor: 金澤英樹 (本学職員) / ミネシゴ(フリーライター)
- Art Director: 渡邊哲意 (本学准教授) / 芦谷耕平 (本学講師)
- Designer: 小野寺真央 (大学院2年) / 松原麻友 (3年) / 石原亜矢子 (3年)
- Assistant Designer: 大泉夏紀 (3年) / 木村奈央 (3年)

『はらべこ新宿食い道楽』
 作画: あゆ丸 (大学院1年)
 表紙テーマ『七夕物語』
 作画: 市川昌紀 (2年)

